

一 般 質 問 通 告 表

平成 29 年第 4 回 始 良 市 議 会 定 例 会 (1 1 月 2 9 日)

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質 問 の 相 手
1. 上村 親	1. 狩川橋の改修について	<p>(1) 1 市道岩剣神社本通線から県道麓重富停車場線へ出たところに架かっている狩川橋の幅員が約 2.7メートルしかなく、緊急時の場合、救急車(幅約 1.8メートル)や消防自動車(幅約 2.2メートル)の出入りが困難である。</p> <p>始良町時代の一般質問で、岩剣川にボックスを入れ、拡幅するよう質問したが、大型クレーンを使うので県道を通行止めしないといけないとのことであった。しかし、その必要性は認め、迂回路が確保できた場合、着工する旨の答弁であった。</p> <p>その後、地権者の同意書も添えて陳情もしたが、いまだ改修計画もない現状である。この地区は高齢者も多く、雨季の時期になると剣の岡(剣の平)から滝のように雨水が流れ、危険地帯でもある。</p> <p>早期の改修計画が必要と思うがどのように考えているか。</p> <p>(2) 重富水源地の工事が着工となっているが、伐木・伐竹の搬出に福ヶ野から蒲生経由で霧島市の処分場へ搬出しているが、本工事の車両も同経路として通行するのか。費用対効果を考えると狩川橋を改修して重富停車場線への通行の方が経費も安くなると思うがどうか。</p> <p>(3) この地域には、平松城跡、岩剣神社、岩剣城跡などがあり、近年観光客も県内外から多く訪れているが、トイレがなく苦情も聞いている。</p> <p style="text-align: center;">精矛神社トイレ整備事業と同じく</p>	市 長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 公共交通の利用促進について	<p>「まち歩きコース」としての整備事業で岩剣神社駐車場に公衆トイレの設置はできないか。</p> <p>(1) 高齢者による交通事故の多さ、その内容の深刻さが社会問題となっている。認知症対策が強化され、高齢者の免許更新が厳しくなった。健康上何も問題ない場合や、家族の理解があって自主的に免許を返納するのであればいいが、免許が更新されなければ、買物や病院に通うこともできず、誰かの好意に頼ることになる。その役割を公共交通が肩代わりして行うためには、発想の転換と体制の見直しが必要である。地域公共交通網形成計画ではどのようなになっているのか問う。</p> <p>(2) 過疎化が進む地域では、公共交通を維持することは極めて困難になっている。公共サービスについては、表面的なコストだけでは測れない側面がある。公共交通に対する問題を行政が高度なレベルに引き上げていくことが重要となる。この政策を推進するための職員の配置はしているのか問う。</p> <p>(3) 利用者のなかには、時刻表がなく停留所までバス時刻の確認をしに行くのが面倒とか、途中バス停の時刻がわからないから利用しにくいなど、多くの苦情を耳にする。本市のバス時刻を調査し、冊子にして全戸配布は考えないか問う。</p>	市 長
2. 渡邊 理慧	1. 本市の情報化推進について	<p>(1) 観光面などを考慮し、Wi-Fi環境の整備が少しずつ進められてきている。中山間地域の対策も含め、今後の計画、目標についてどのように考えているか。</p>	市 長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. マイナンバー制度について</p> <p>3. 子ども医療費助成について</p>	<p>(2) 本市のホームページの内容はどのような視点で掲載しているか。</p> <p>(3) 本市ではSNSをどのように活用し、効果をどう検証しているか。</p> <p>12桁の番号を割り振り、税や社会保障などの情報を管理するマイナンバー制度は、2015年10月から通知が始まった。</p> <p>(1) 現在マイナンバーが記載されている書類はどのようなものがあり、今後の利用拡大の計画はどう考えているか。</p> <p>(2) 住民税の特別徴収課税通知書は勤務先に送付されるが、誤って配達された場合や、情報漏えいのリスクについての見解を問う。</p> <p>(1) 本市は中学校卒業までの子どもに医療費助成を行っている。平成28年11月1日から、中学校卒業まで拡大されたが、住民税課税世帯の中学生の子どもには上限2,000円の自己負担がある。子どもの医療費には所得制限を設けるべきではないと思うが、自己負担金を無くしてはどうか。</p> <p>(2) 現在は、医療機関で一度支払いをし、後日、口座に振り込まれる自動償還払いとなっている。現金を持ち合わせていなくてもすぐ病院に行けるよう現物給付が望まれるが、市長の見解を問う。</p> <p>また、現物給付に向け、どのような取組が行われているか。</p>	<p>市 長 教育委員長</p> <p>市 長 教育委員長</p>
3. 神村 次郎	1. 教育振興を図るための教育条件整	現代社会は、貧困の連鎖と固定化が進んでいるといわれている。	市 長 教育委員長

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
	備について	<p>貧困と格差の解消は、社会的課題である。教育と福祉を一体的にとらえ、「誰でも、いつでも、どこでも無償で」全ての子どもが豊かな学びや育ちが保障される「教育、福祉」社会の実現に向けた取組が今、重要である。</p> <p>教育行政について以下を問う。</p> <p>(1) 教育費の負担増大は家庭の経済力が子どもの学力に直結する事態を招いている。日本には「教育の機会均等」が保障され、経済的に苦しくても個人の努力で進学できるとされてきた。しかし、努力は限界にきている。政府は「教育無償化」を打ち出しているが、教育委員長として「教育無償化」について見解を問う。</p> <p>(2) 現在、保護者が学校に納める「校納金」は市内小学1年生・6年生・中学2年生で一年間でどれくらい保護者が支出しているか。</p> <p>(3) この校納金の保護者負担の現状について（子育て支援を重要な施策としている）教育委員長の見解を問う。</p> <p>(4) 学校現場や保護者から、教育費の保護者負担について要望を聞いている。</p> <p>①用紙代を児童から徴収している。学校の消耗品として支出できないのか。</p> <p>②可処分所得の減少、消費税増税等で家庭生活の中で教育費の負担は重い。保護者が納める副教材費、学校給食費の無償化は検討できないか。</p> <p>給食費については、5か年計画で無償化の検討はできないか。</p> <p>③次年度予算の決定時期が早いので学校現場での要望の取りまとめが間に合わない現状がある。年末に戻せないか。</p>	

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 幼児保育行政について</p>	<p>(5) 一般会計総額に占める教育費の歳出決算額（比率）は6.5パーセントである。</p> <p>教育振興計画基本計画を進めるに当たり、この構成比に対する教育委員長の見解を問う。</p> <p>(6) 教育費の保護者負担の軽減や教育施設の整備等進めるには、教育予算の拡充は重要である。教育予算のあり方について問う。</p> <p>今年度に入り、外部委員を入れて始良市公立保育所等あり方検討委員会が設置され、5回の検討委員会で、小山田保育所を残して4保育所の民営化の方針が決定され「始良市立保育所等の運営にかかる提言書」が発出される。総合計画の中でも重点施策として掲げる「子育て教育」「子どもを安心して生み育てることができる子育て支援のまち」について問う。</p> <p>(1) 合併後、保育所職員の非正規化が図られてきたが、民営化に向けた対応だったのか。このような行政のあり方が正しいのか問う。</p> <p>(2) 保育園を「幼児教育を行う施設」として明示し、制度としては教育を行う施設となるのか。見直された保育指針について説明せよ。</p> <p>(3) これまで、公立保育所の果たしてきた役割は何か。</p> <p>(4) 旧町ごとに配置された公立保育所は、バランス良く配置されている。公立に通園させたい保護者もいる。一か所しか公立は残らないことになると選択肢がなくなる。このような行政で良いか。</p> <p>(5) 市の幼児保育について大転換である「あり方検討委員会」での結論が先</p>	<p>市 長 教育委員長</p> <p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>行して進んでいくことになるが、「庁舎問題」「保育行政」について重要な施策の変更が、いとも簡単に進められようとしている。</p> <p>もっと慎重な、多くの市民への説明責任と議論が求められている。市長の見解を問う。</p>	
4. 峯下 洋	<p>1. 「もったいない」運動の啓発について</p> <p>2. 2025年問題について</p>	<p>以前、3010運動について質問したが、今回はその他の「もったいない」ことについて、質問する。</p> <p>(1) 市報に毎回ゴミの減量の取組方の紹介があるが、生ごみを燃やすのではなく、循環型で焼却ゼロに取り組む考えはないか。</p> <p>宮崎の企業がBUICK（ビューイック）システム装置（食品廃棄物処理装置）を開発し特許をとり、地元のみならず、世界に貢献していることを紹介していたが把握しているか。</p> <p>(2) 本年第1回定例会において、ペーパーレス化で印刷代等にかかる経費節減に貢献するタブレット導入について提案したが、その後どのように研究、検討されたか。</p> <p>(3) 制服・ランドセルなどを譲り受けるシステムを構築することは可能か。</p> <p>(4) 住宅地に空き地が存在し、近隣の住民に迷惑をかけている持ち主に対して、維持管理を強く要請することを定期的に行うべきと思うが、どのように対処するか。</p> <p>まもなく団塊の世代といわれる方々が後期高齢者になる時代がすぐそこまで来ているが、市としての対処はどのように考えているか問う。</p>	<p>市 長 教育委員長</p> <p>市 長 教育委員長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>(1) 独居・孤立死にどのように対処する考えか。</p> <p>(2) 高齢者や認知症の方々の免許返納に対しての市としての移動・交通手段をどのように考え、市民の暮らしを支えていく考えか。</p> <p>(3) 市民が住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らせるようにするために、どのような施策を考えているか。</p> <p>(4) 高齢者の生涯学習についてどのようなことを準備しているか。</p>	
5. 堀 広子	1. 国保の都道府県化について	<p>(1) 来年4月から始まる国保の「都道府県化」は市町村国保が抱える「構造的な問題」をどのように解消できるのか。また、「県単位化」によるメリットを具体的に示せ。</p> <p>(2) 県の国保事業費納付金と標準保険料率の試算について</p> <p>①第2回試算と第3回試算で、県から本市に示されている内容を示せ。</p> <p>②平成30年度実施に向けた「仮係数」が11月末に各市町村に提示されるが、この「仮係数」の概要を示せ。</p> <p>(3) 第3回試算と一人当たり保険税必要額について</p> <p>①激変緩和前の本市の一人当たり保険税必要額と被保険者数、保険税必要総額を示せ。</p> <p>②県が示す激変緩和後のケース1から6の内容はどのように決定されたのか。</p> <p>③本市が予想する激変緩和後のケースと一人当たり保険税額はいくらになるか。</p> <p>(4) 本市の国保事業費納付金について(平成29年度予算ベース)</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 札立地域の市道の改修について</p>	<p>①県全体の納付金算定基礎額とその算定方法を示せ。</p> <p>②第3回試算に基づく県から示された本市の納付金額はいくらか。</p> <p>③納付金は基本的に国保税で賄うものだが、過不足分を示せ。</p> <p>(5) 本市の標準保険料率について</p> <p>①県が示す本市の標準保険料率の賦課総額はいくらになるか。</p> <p>②29年度ベースでの現行税率に基づく賦課総額(4方式)はいくらか。</p> <p>③第3回試算に基づき、県が示した賦課総額と現行の賦課総額との差異があるが、その要因は何か。</p> <p>(6) 県に移行後の本市の国保会計について</p> <p>①歳入、歳出、各項目の変更の内容を示せ。</p> <p>②歳入への公費内容と拡充はどのようになるか。</p> <p>(7) 県の国保運営方針案について</p> <p>①本案では、決算補填等を目的とする法定外一般会計繰入について「計画的、段階的な解消」を求めているが、本市の現状と対応はどのようになるか。</p> <p>②保健事業(はり・きゅう施術料等)の納付金及び標準保険料率の算定の対象になるのか。</p> <p>(8) 県の試算結果をふまえて、国保への公費拡充の確実な実施が必要であり、法定外の一般会計の繰入を継続し、国保税の引き上げを実施すべきでないとするが、市長の見解を問う。</p> <p>加治木中学校南側の札立地域の市道は用水路があり、手狭で車の離合ができず、改修の要望が合併前から続いている。これまでどのような検討がなされ、今後ど</p>	<p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 本道原地域に水の供給を</p>	<p>のような対策を考えているのか問う。</p> <p>本市は、飲料水供給施設のない無水地域がある。空港へ通じる本道原地域については、霧島市との協議で、水の供給の可能性が高いとの報告を受けていた。その後の進捗状況と対策について問う。</p>	<p>市 長</p>

